



今回の獲物達。  
ターゲットは入念な下調べのうえ選定。

13人中4名は当拷問クラブに自らやってきた生粋の変態。  
残りは強制的に×××した。



人気現役OKアイドルユニット「ブラホワシスターズ」  
ツンツンオンリーのデレなしSキャラを売りにしており、  
コアなファンが多い。  
二人は本当に姉妹らしく、すこぶる仲がいいことで有名。  
よく間違えられるが左が姉で右が妹である。



仲が良いのを利用し、お互いに手を出さないことを条件に拷問撮影を行う。

生意気な面が涙と鼻水と涎でグシャグシャになるまで徹底的に糺りつくしてやる。



有名進学校の女教師。  
新人だが凛として気丈で芯が強く、男子女子共に人気がある。

乳輪が大きく、服の上からでもわかるほどだ。  
男子生徒にはだいたいオナネタにされている。



一見清楚なように見えるが、実は  
**ド変態のスカトロマニア**で、  
今回スカトロ調教を志願してきたキチ○イである。



自分のウンコの匂いを嗅いで興奮してるらしいが、  
食べたことはないそうだ。  
嘔吐感がすごく断念したらしい。  
Mっ気もあるようで、  
無理やり食糞させられたいようだ。



望み通り、痰ツボ、食糞、塗糞と地獄の汚辱を堪能してもらおうとしよう。



小生意気な女子○校生3人だ。  
3人ともはち切れそうな爆乳で虐めがいがある。  
左右の2人は数年前にどこかで見た気もするが、  
多分気のせいだ。





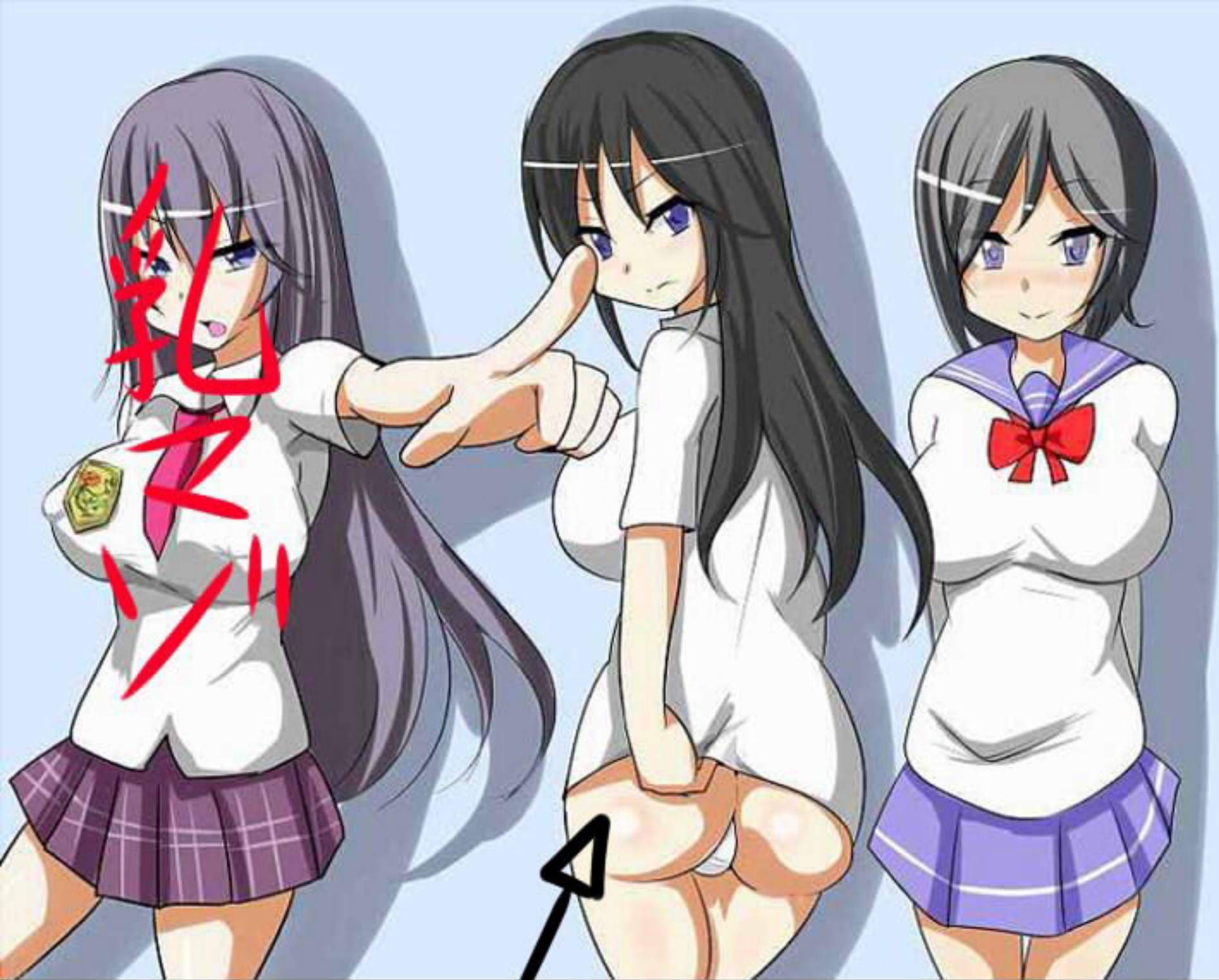
こいつらは単純にかっさらって監禁し、  
暴虐の限りを尽くして服従させる。  
嬲り×すもよし、  
糞塗れのゲロ塗れにしてやるのもいいな。



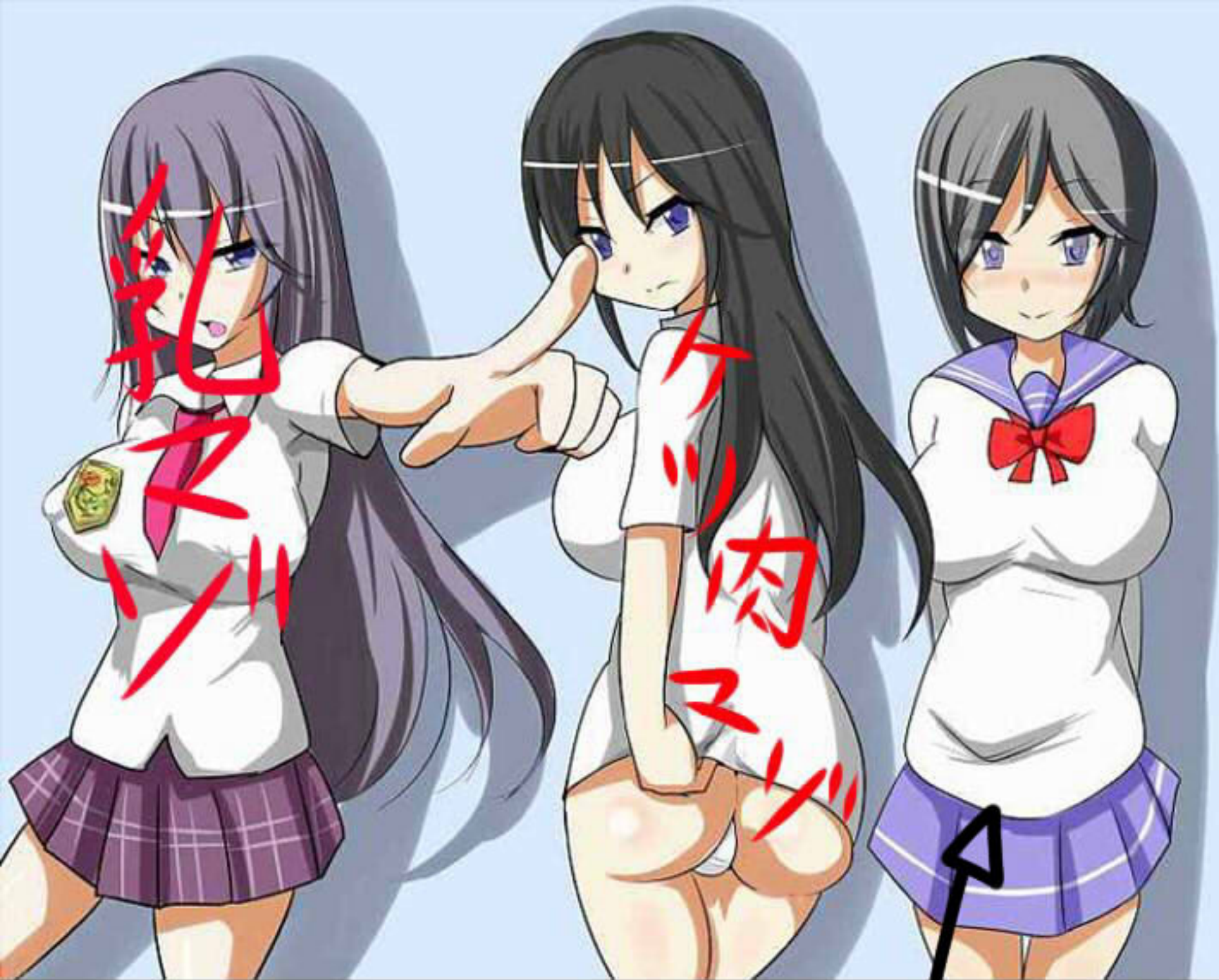
気が狂うほどの鬼畜地獄を  
味あわせてやる



学校では生徒会長を務めており、上から目線で口調が強いため生徒から恐れられている。が、実は真正のドM。特に乳を虐められる妄想が酷い。



お尻を叩かれる妄想で興奮する変態。  
セルフスパンキングだと限界があるため、  
容赦なく尻を壊されることを希望している。  
これだけいいプリケツ、  
言われなくても壊すがな！



普通にマゾ。特に変哲もないマゾ。  
最初から完全服従。なんでも言うこと聞く状態。  
外国の拷問動画を見て、  
脳内で自分に置き換えるのが趣味。



こちとらドSの変態倶楽部としては、  
生ぬるいM願望を打ち砕いて  
地獄の悲鳴をあげさせたいところだ。



人間便器にすべく捕えた女子大生二人。  
今までにない趣向として催眠療法を取り入れてみた  
(・・・療法?)



催眠によって得た効果は抜群で  
汚物への嫌悪感を最大限残したまま、  
**自分のことを大便器だと思わせる**  
ことに成功した。





二人とも透き通るような白い肌だからな。  
全身に糞を塗りたくるのは楽しそうだ。



若い雌を嬲りたいという要望は非常に多い。  
彼女らはそんな要望に応えるための  
普通の女子○学生。



彼女らの“普通”は今日終わりを告げ、  
俺たちの“普通”をその小さな体に刻み込むとしよう

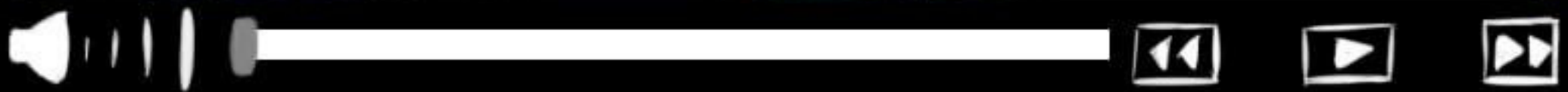


きあ、宴を始めよう



サ  
デ  
イ  
ス  
ト  
の  
宴  
V





ブラホワシスターズ  
1「ホワイト：姉 序章」



整った顔立ちに小ぶりだが張りのいい乳房  
さすがはアイドルといったところか。  
憧れのアイドルを好きなように眺める。  
考えただけで興奮が抑えられない。



「・・・約束。守りなさいよ。  
私を好きにするかわりに妹には  
手を出さないって。」

「もちろん」  
守るつもりなど毛頭ないが・・・





( ・ ・ この部屋、暑いしくさい。。。  
この汚い男達の熱気で吐き気がする。  
ここから出たら絶対訴えてやるんだから。 )



「・・・何すんのよ。  
手、汗ばんでて気持ち悪いんだけど・・・」



乾いた音が部屋に響く

「お前、なにか勘違いしてるだろ？」



「お前はもうアイドルどころか  
人権すらないただの家畜だ。  
ましな死に方をしたかったら  
せいぜい俺らを怒らせないことだな。」



「げふっ！はぶっ！っ！  
痛いっ！やべっ！でっ！」

リズムよく頬の柔肌を叩き続ける  
「はあはあはあ」たまらないっ



5分近くひたすらビンタを続けた。

頬は腫れ、涙と鼻水でグチャグチャだ。  
嗜虐心が更に高まる。



「あんたらなんか・・・に・・・  
絶対服従しないから・・・」



フ  
ッ  
フ  
ッ  
フ  
ッ

キムカウ

ウ





「今、なんか言った？」

爪をたて、頬を抓る



「いっっ！っだあああああ!痛い！痛い！」



「ほらほら、なんて言ったの？」



「っぎいいいいいいいい！いだっ！  
いだっ！いだだだだあああああ！」



「調子にのってるとこのまま  
捻ってほっぺた千切っちゃうよ」



きゅわん  
ア  
ア  
ア

きゅわん

「ぜっだいいっ！服従じないっで！  
いっだあああ！いっだの！よ！」



・ ・ ・面白い。  
どこまで耐えられるか見ものだな。



ブラホワシスターズ  
2「ブラック：妹 序章」





姉と違ってたわわな果実が実っている  
生意気そうな面構えはそっくりだな。

こいつはこの浴槽で飼育してやるか。



「おやおや、ご機嫌ななめだね。  
アイドルがそんな顔してていいのかな？」

「あんたらに見せる笑顔なんかないわ  
この屑人間共！！」



「いいのか？そんな態度で？  
姉を嬲り殺すぞ？」

「っ！！！！お姉ちゃんに指一本触れてみる！  
その薄汚いち○ぽ噛み切ってやる！！！！」



そういうなり、キツとした目つきで睨んでくる

「品のないやつだな。

まあ、いい。そのうちそんな口きけなくなるさ」



つんとした乳首を軽く摘まむ。

(んんっ！気持ち悪い！気持ち悪い！)



「こりこりの乳首。こりこり乳首！  
はあはあはあ」

ひたすら指先でねぶりたおす



「ふっ！ふっ！も、うやめっろ！うぐう！」

(いったい、いつまで続ける気だ！！  
もう、10分はいじり続けてる！)



ごりっ！  
15分ほど愛撫した後、思いっきり捻る。  
何の前触れもなくいきなり。

「いっだあああああああああああああ  
やめろっ！ずっと弄られて敏感になってるのに！！」





「ふうふうふうふう。も。もう  
いいだろ？30分は弄ってるぞ？」



「はあ？いまから両乳首を3時間は  
弄りたおすからな！寝言いうな！」

「！！！？さ、3時間っ！！？」



1 時間経過 . . . .

「ふっふっふ、ふぎっ、ふぎっ！  
はあはあはあはあはあはあはあはあ！」



(だめだっ！頭がトびそうだ！！  
真っ白にっ！)



2時間経過 . . . .

こりこりこり！ひたすら弄る。  
(狂うっ！くるってしまう!!!)

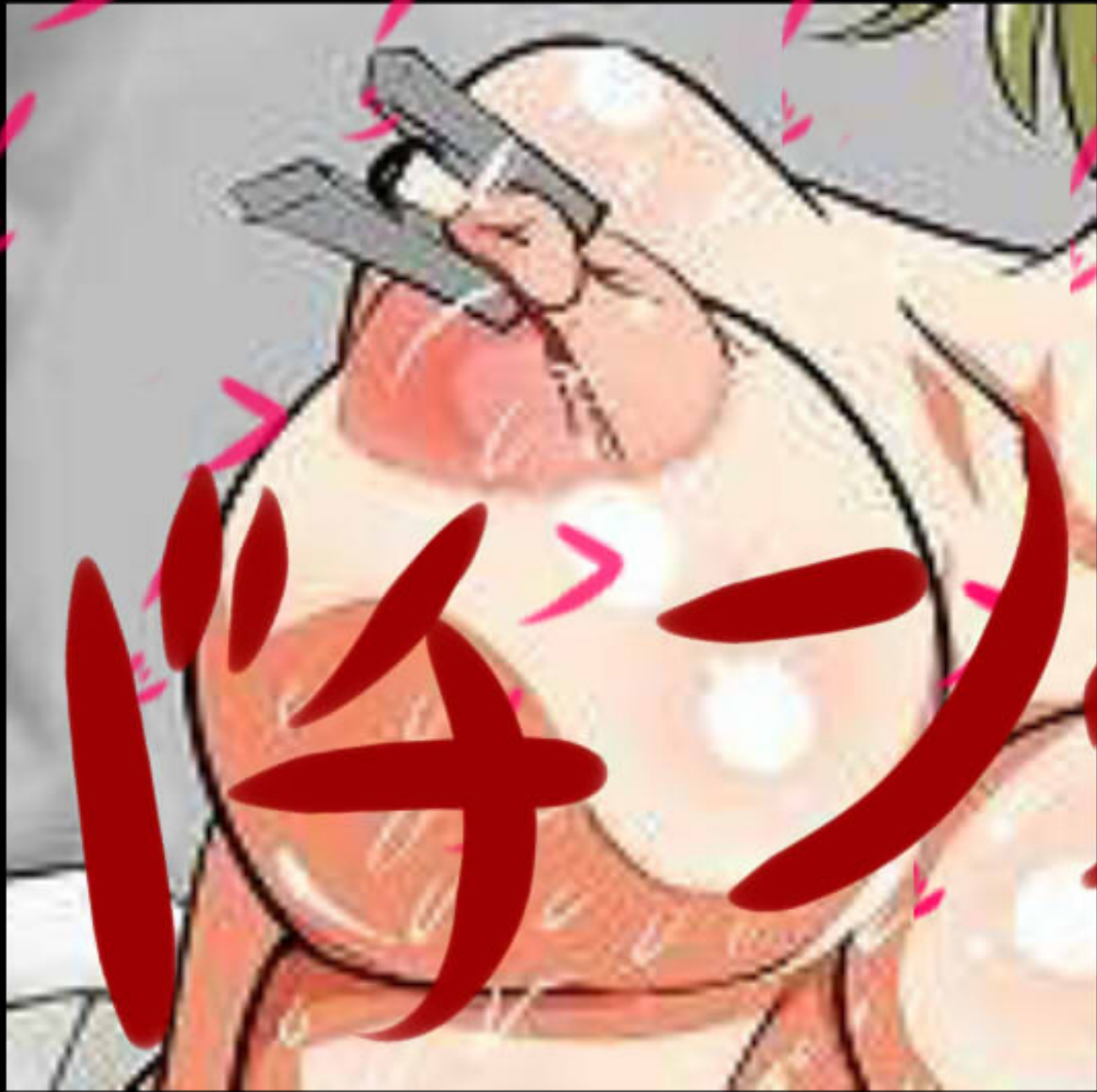


3時間経過・・・

最後の1時間は干切る勢いで  
めちゃくちやにしごく。  
爪をたて、ひっぱり捻りあげる。



「はあはあはあ。やっど、やっどお  
おわった。。。。っ」







超強カクリップで3時間シゴキあげた  
ギンギンの勃起乳首を容赦なく挟んだ。





「そら、逆乳首もだ」

「ぎあやああああああああああ！！」



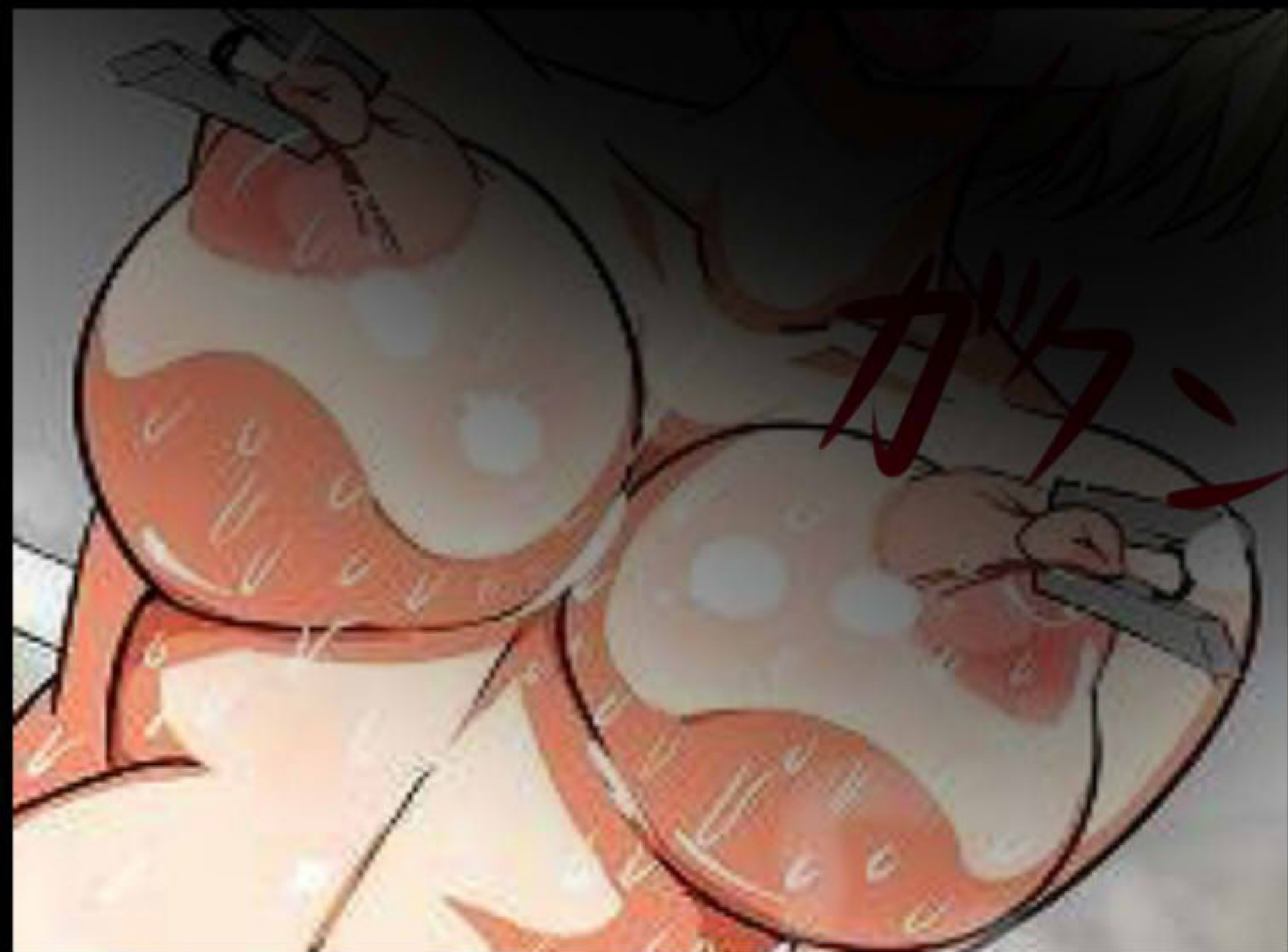
まるで獣だな。

ちょっと前まで殺すだのなんだの  
のたまった威勢はどこへやら・・・



首がカクンと前に倒れる。  
どうやら気絶したようだ。

やれやれこの調子ならすぐに壊れちまうかもな



(お、おねえちゃん . . . .)

お姉ちゃん . . . . .)

サ  
デ  
イ  
ス  
ト  
の  
宴  
V





「この・・・卑怯者・・・、  
こんなにしないと女の子一人相手にできないんだ」

妹と違ってこっちはかなり頑丈そうな精神だな

しかし・・・





「よお、お前の妹、なかなか虐めがいのある  
乳首だったぜ」

「なっ！あんたら約束が違う！！」

「だってよ、全然言うことききそうにねーじゃん  
お前」



「わ、わかった・・・ということ聞くから・・・  
だから・・・」

「OK、わかったじゃーこう言うんだ」

耳元で述べるべき口上を囁く

「・・・・・・・・な、なっ!？」



「わ、わ、私は・・・」  
プルプルと肩を震わせながら  
蚊の鳴くような声で喋る

「おい、きこえねーぞ」



「わたしは！！変態のマゾ肉です！  
叩かれて喜びます！叩いてください！」

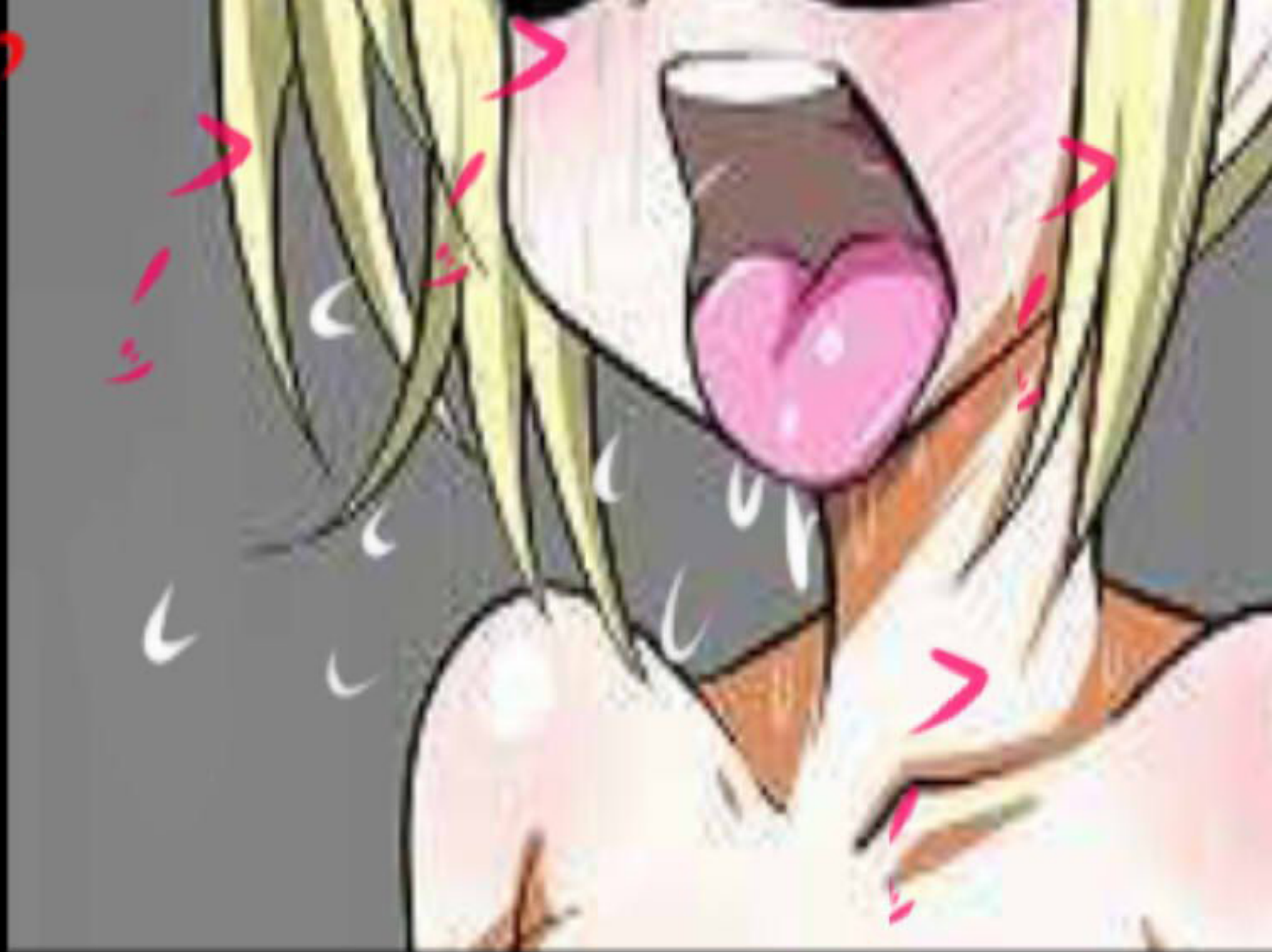
「は？なんて？全然きこえないんだけど！？」



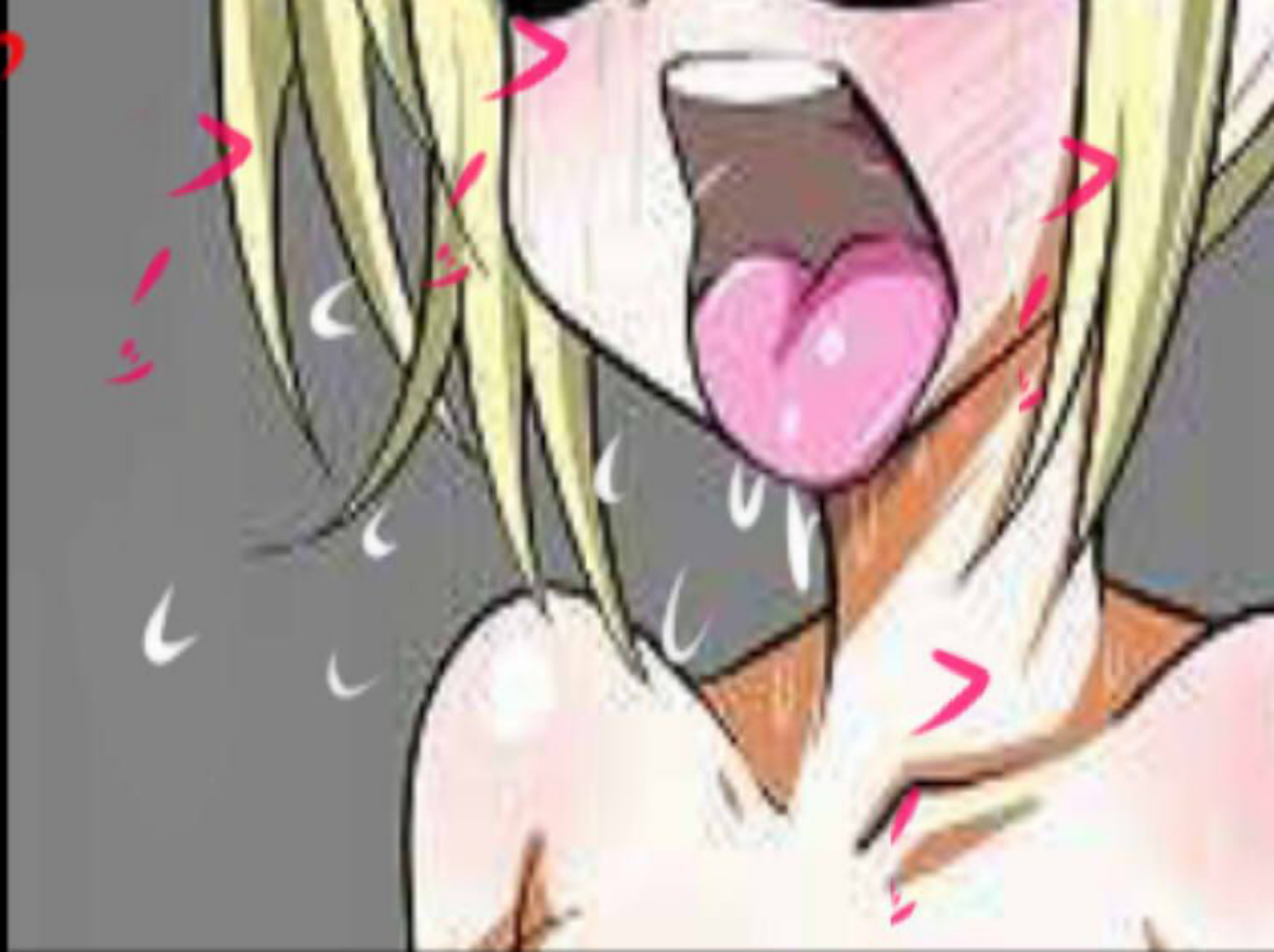
「わたしはっ！！変態の！！！」

「マゾ肉ですうううう！」

聞こえないと何度もいい、延々と  
繰り返させる



10分以上繰り返させただろうか？  
最後のほうはほとんど叫ぶように  
涎をまき散らせながら繰り返させた



「わかった、わかった。  
そこまで言うなら叩いてやるよ」

それをきくと、肩で息押ししながら  
自分の言った言葉を思い出すように  
フルフルと震えながらポロポロと泣き始めた



「ひっ！いたっ！」

柔らかな乳房をぐりっと棒で押し込む





(こ、怖い . . . . .)

「いくぞ。いい声で泣けよ」





叩くたびに小ぶりの乳が勢いよく  
プルプルと震える。

いい感触だ。たまらない・・・



「あ。あ、あ、ああ、ちよっ！  
これは！ちがうの！ダメ！見るな！」

痛みで反射的におもらしをしてしまったようだ

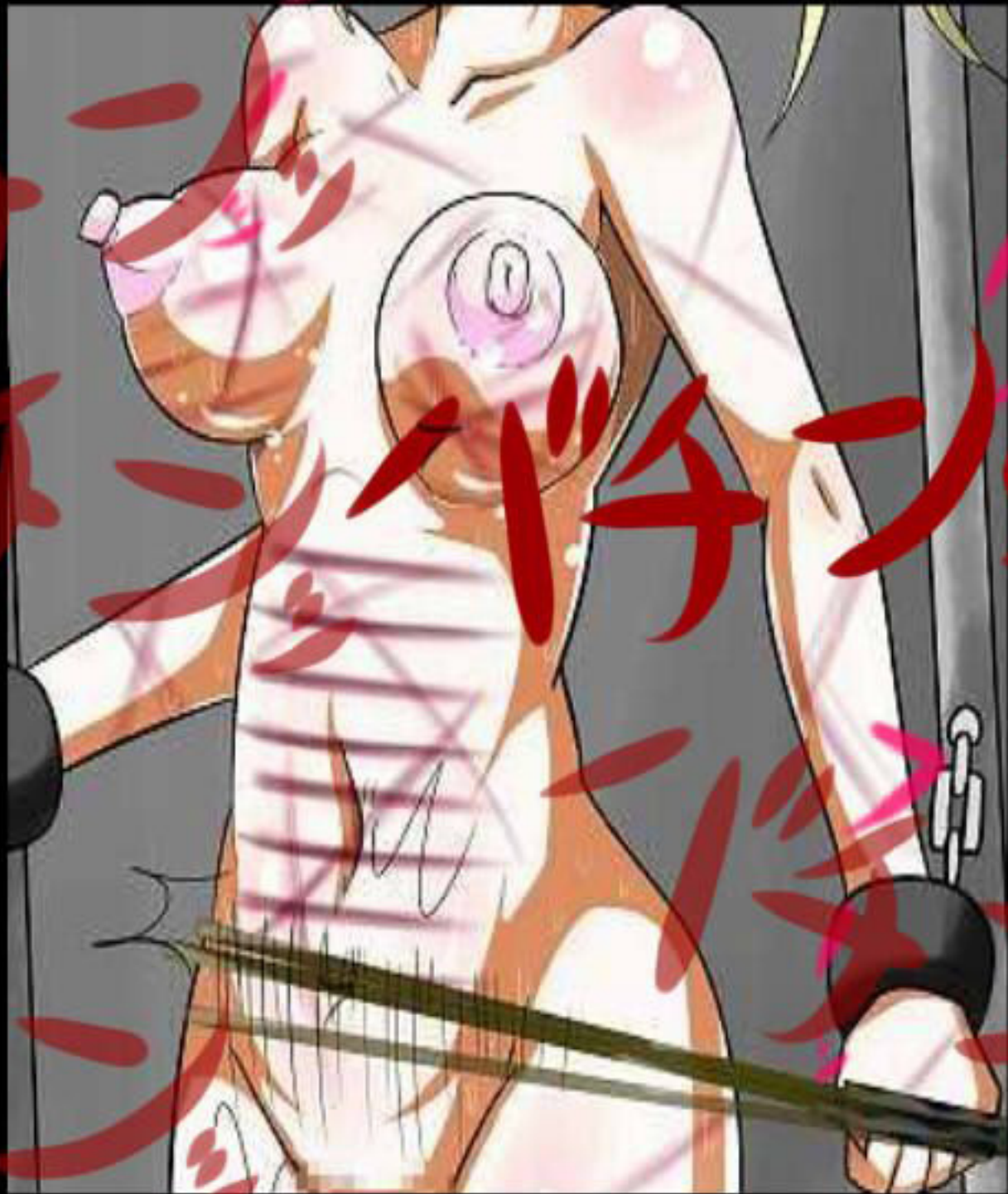


「あああ、ぜ、全部でちゃった・・・  
ひどい、ううう、うわあああああん！」



ひとしきり泣き終えて、鼻をじゅるじゅると  
啜りだした。  
恥ずかしさで忘れていた痛みを思い出し、  
ヒリヒリと痛む乳房を小刻みに揺らしている。

大きく息をついて「・ ・ いたい」と  
一言放ったその瞬間・ ・ ・



全身をメッタ打ちにする



「ぎゃおおおおお！ぎゃお！ぎゃお！  
いだいだいだいだいだいだいいい」

訳が分からず全身をくねらせながら  
避けようとする。





断続的に続く悲鳴が心地よく、興奮が収まらない  
はあはあと息を荒げ全身あますことなく  
打ちつけた



「うわああああああん。あああん。  
いたいよお！死んじやうよ！  
なんで？なんでこんなにするの！」

「お前がマゾのくせに痛いなんて言うからだ」



(たったそれだけで?)

背筋がゾッとするのを感じた

(この人達、ほんとに頭がおかしいんだ  
私、このままじゃホントに・・・)

サ  
デ  
イ  
ス  
ト  
の  
宴  
V





(また・・・乳首を・・・)

「よお、目覚めはどうだ？」

「最悪に決まってるでしょ・・・」



「あんまり、乱暴にしないでよ・・・」

「・・・・・・・・おい」



「いま、乳房が弾力で押し返してきたぞ！  
生意気なんだよ！乳首壊すぞ！！」

(な、何言ってるの？この人！？  
い、意味がわからない！  
痛いっ！乳首がつぶれる！！)



「いたっ！ほんとに壊れる！からっ！  
やめて！痛い痛い痛い痛い！」

乱暴にぐりぐりと棒で潰してやる  
「まただ！跳ね返してくるぞ！  
だまってつぶれてりゃいいんだ！」





「ご、ごめんなさいいいい！  
謝る！謝るからやめてえええ」



「何を謝ってるんだ？ちゃんと言え！」

(ひいいいい！ちゃんと？ちゃんにとって！？)



「私の乳房が！生意気に！  
逆らって！！申し訳ありません！！！」

(私、何言ってるんだらう？)



「しょうがねえな、反省してるようだし。  
これで勘弁してやる」



「乳首吸引おしおきだ。  
本気だしたら千切るのも可能だからな」

(!!!!!!そんなの・・嫌っ!!!!)



「も、もう、はずしてっ。。。ほんとに干切れるっ。づっううう」

「ダメだな。今日はそれをつけたまま一晩過ごしてもらおう。」



(!!!!?????)

「ぞ！そんなあああ！無理！無理です！  
勃起したまま戻らなくなるっ！」



「じゃ、おやすみー」

ふふ、今夜は激痛で一睡もできないだろうな・・・





再生



ブラホワシスターズ  
3 「ホワイトの乳房」



乳房を根本からきゅっ縛り上げる

「ふうーふうーふうーふうー」  
相当な激痛なようで浅い呼吸が続いている



「マゾにはたまらんご褒美だと思うんだがね」

「ふうーふうー、ほ。解いて」





キ  
カ  
ウ

ううううう

「ダメにきまってんだろ」



縛りあげパンパンに張ったところを  
容赦なく潰した。

「ぎやおっ！おおおおおおお！  
おっ！おっいだいっ！いだいだいだいだいだいっだま



あっがあがああががががががあああ  
ぎやががああああ！ぐおおおおおお  
おげっ！ぎやご！ごおごごおごおおおお！



すこしずつ力を強めていくたびに  
めちやくちやな悲鳴があがる  
丹念に、丹念に潰して壊すぞ





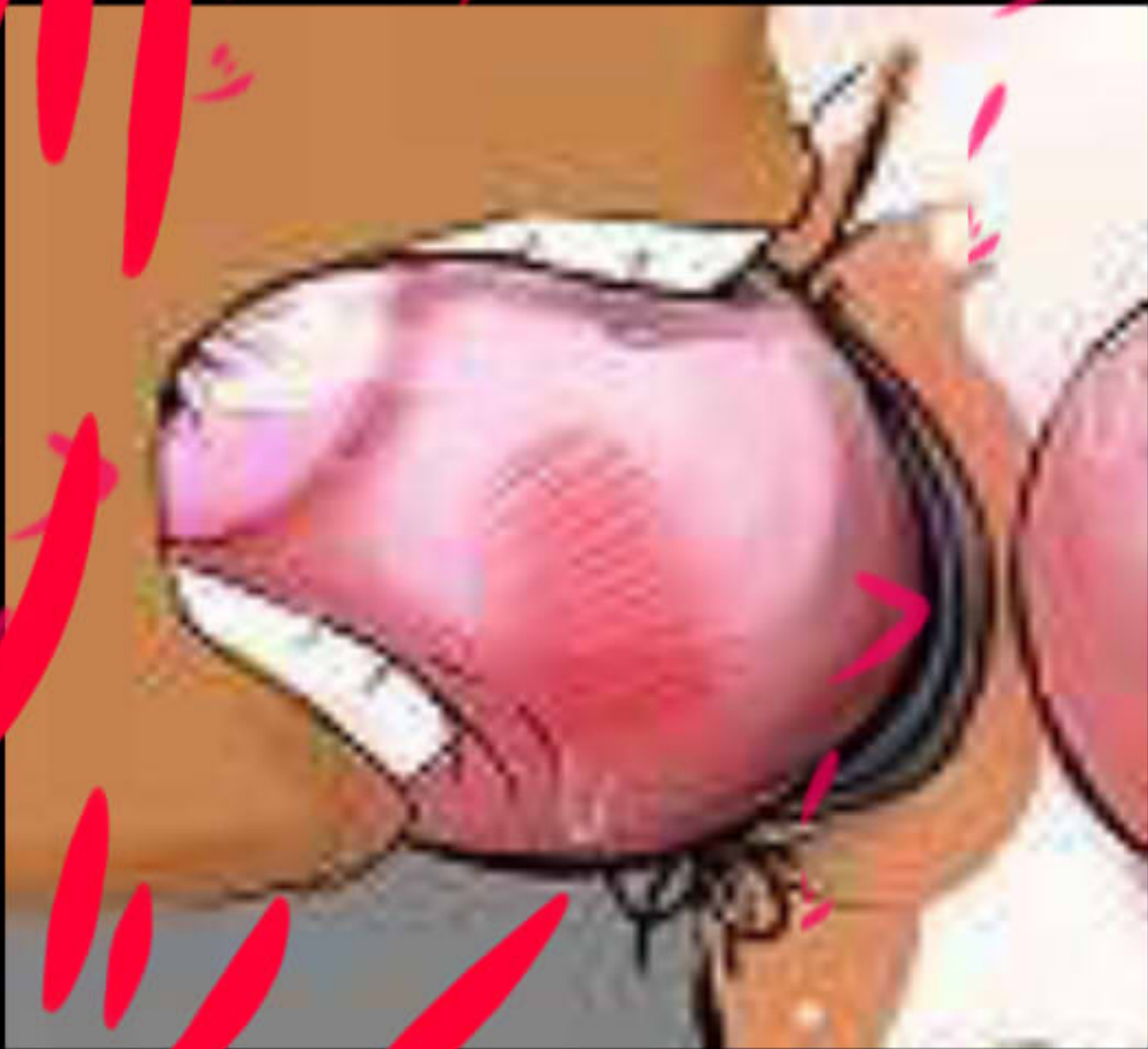
締め上げすぎて青紫色に変色。  
が、まだ容赦なく乳首まで締めあげる。



「あ・・・・・・・・」

気絶したか。キツケが必要なようだな

カッ





破裂しかけの乳房を思いっきり噛んでやった  
一発でお目覚めだ。



乳房にはくっきりと歯型がついていた



再生

ブルブル



ブラホワシスターズ  
4 「意識混濁と目覚め」



「おおー、中々変態チックな乳首になったな」



「どれどれ、おおお感触もコリコリで  
たまらん。」

(ぐっ！ううう！乳首勃起しすぎて！痛いっ)





とがりにとがった乳首を棒で  
乳房の中に押し込むようにねじりこむ

「ぐおっ！おおおおおおおお！」



(くそっ！くそっ！好き勝手しやがって！)



今度は乳房に向けて鞭を打ち込む



(いったい、いつまで続くんだ・・・  
だんだん、何がなんだかわからなく  
なって・・・)

私、実はマゾだった・・・のか？



痛みがだんだん・・・麻痺してきて

もうよくわからないよ . . .



頭が真っ白に . . . なって . . .

鞭を打つ音が遠くからきこえてくる

> レロオッ >



「舌だして・・・」

「舌？ 舌？ とうですか？」

> レロオッ >



「・・・・・・・・あ」

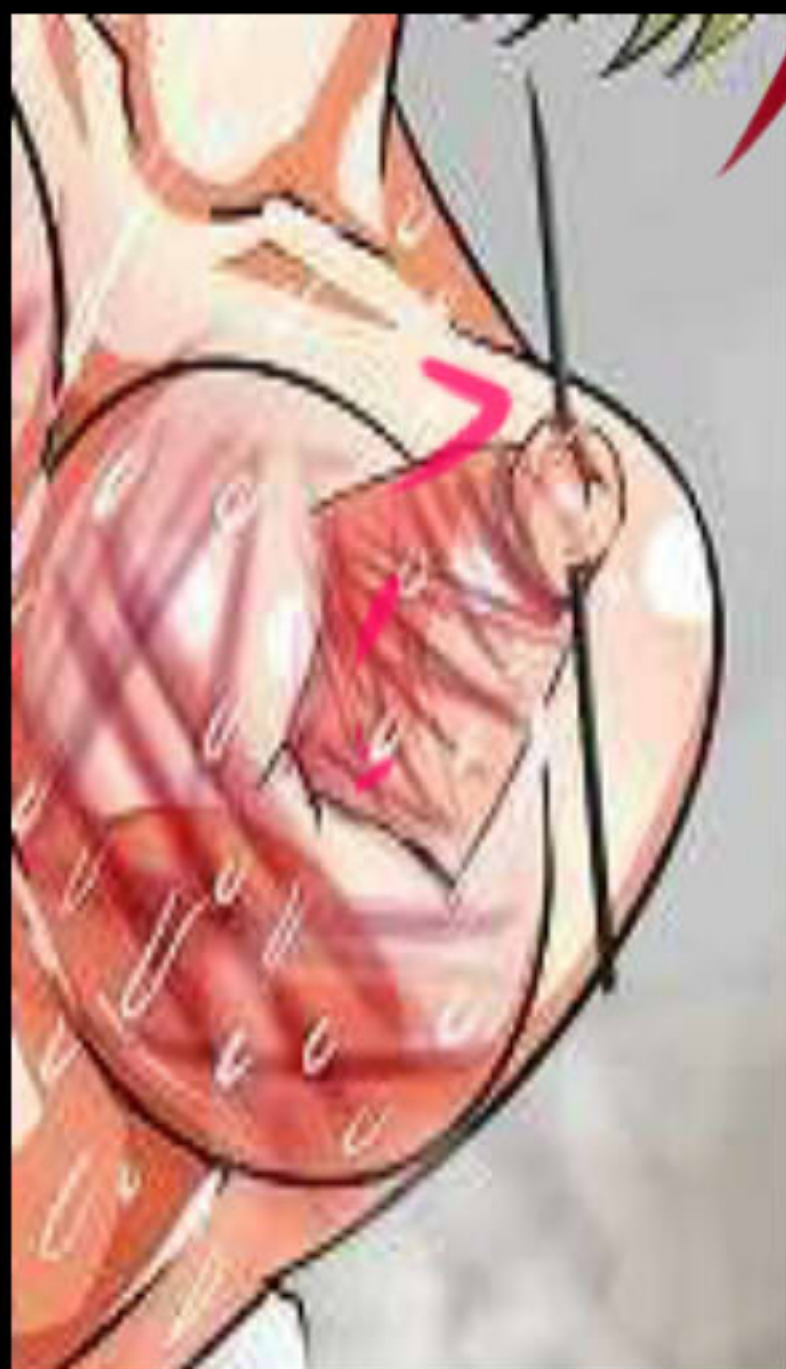
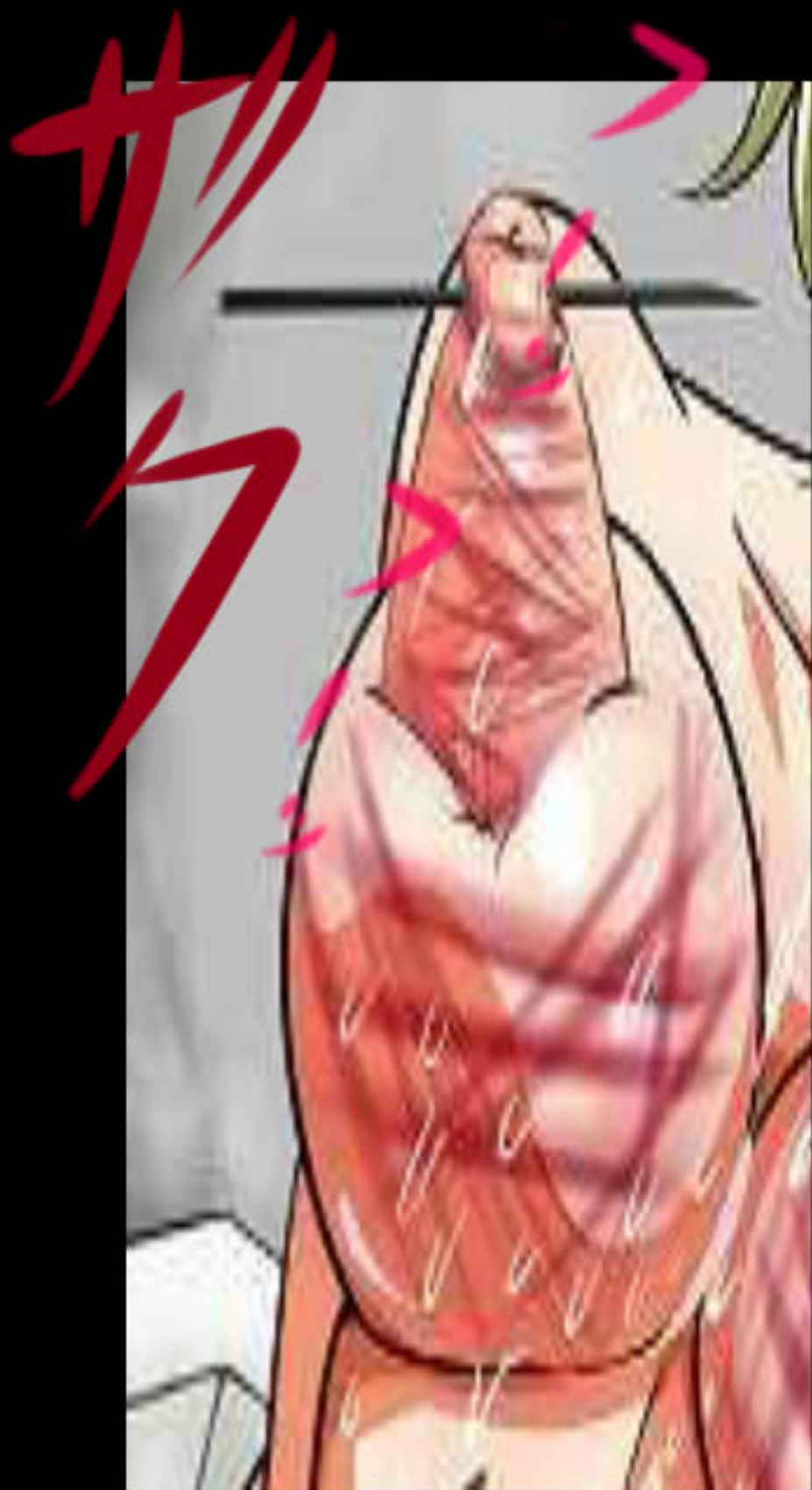




「ぎゃああああああああああああああああああああ」



(ちがうっ！気を失いかけてただけだ！  
痛みで！激痛で！またっ！  
呼び起されてる！拷問が始まるんだっ！



ぎゃおおっ！

ぎゃおおっ！ ぎょおおおおおおお！

痛い痛い  
痛い痛い！

痛い痛い痛い痛い！

痛い痛い痛い痛い！  
痛い痛い痛い痛い！  
痛い痛い痛い痛い！  
痛い痛い痛い痛い！  
痛い痛い痛い痛い！  
痛い痛い痛い痛い！  
痛い痛い痛い痛い！



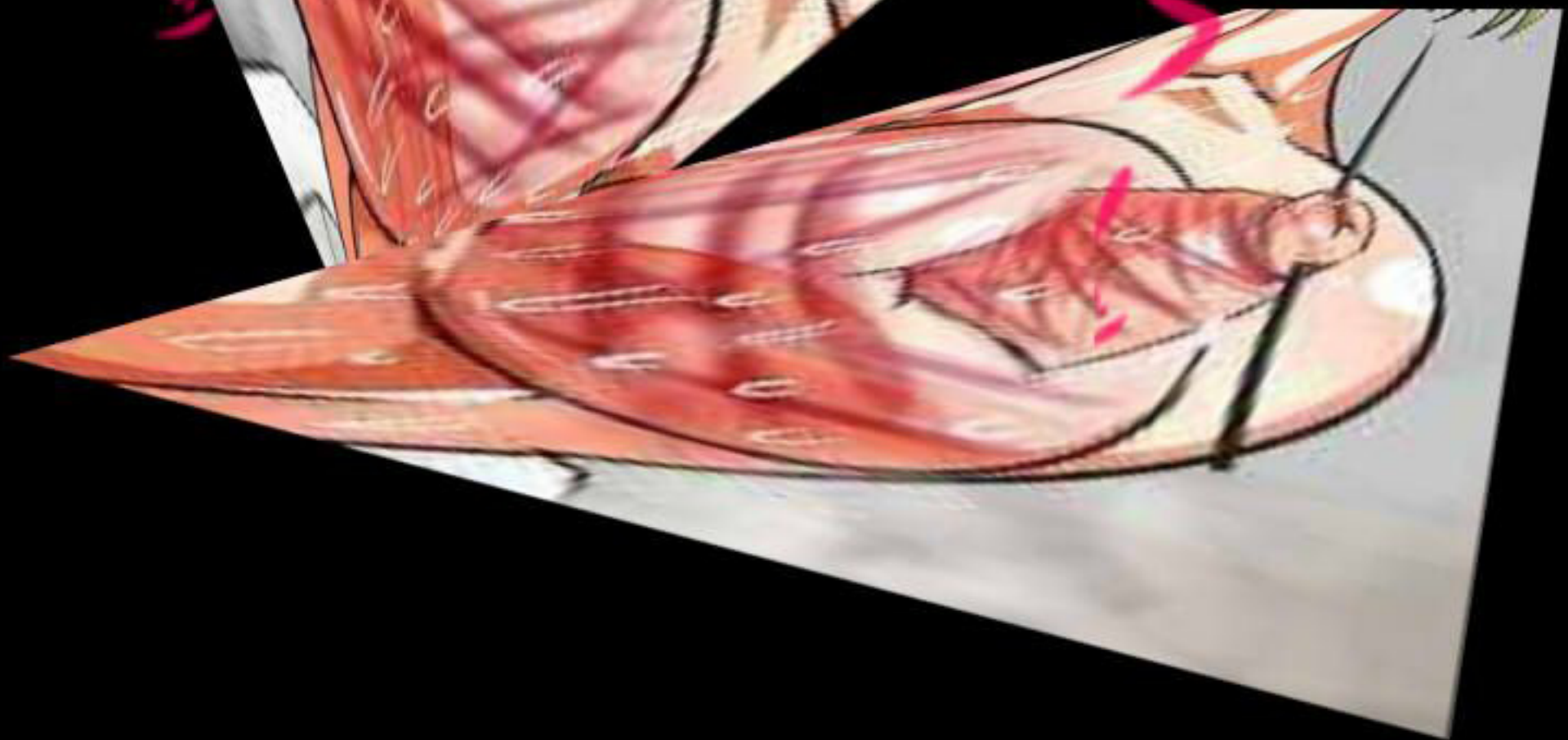
痛すぎて！！

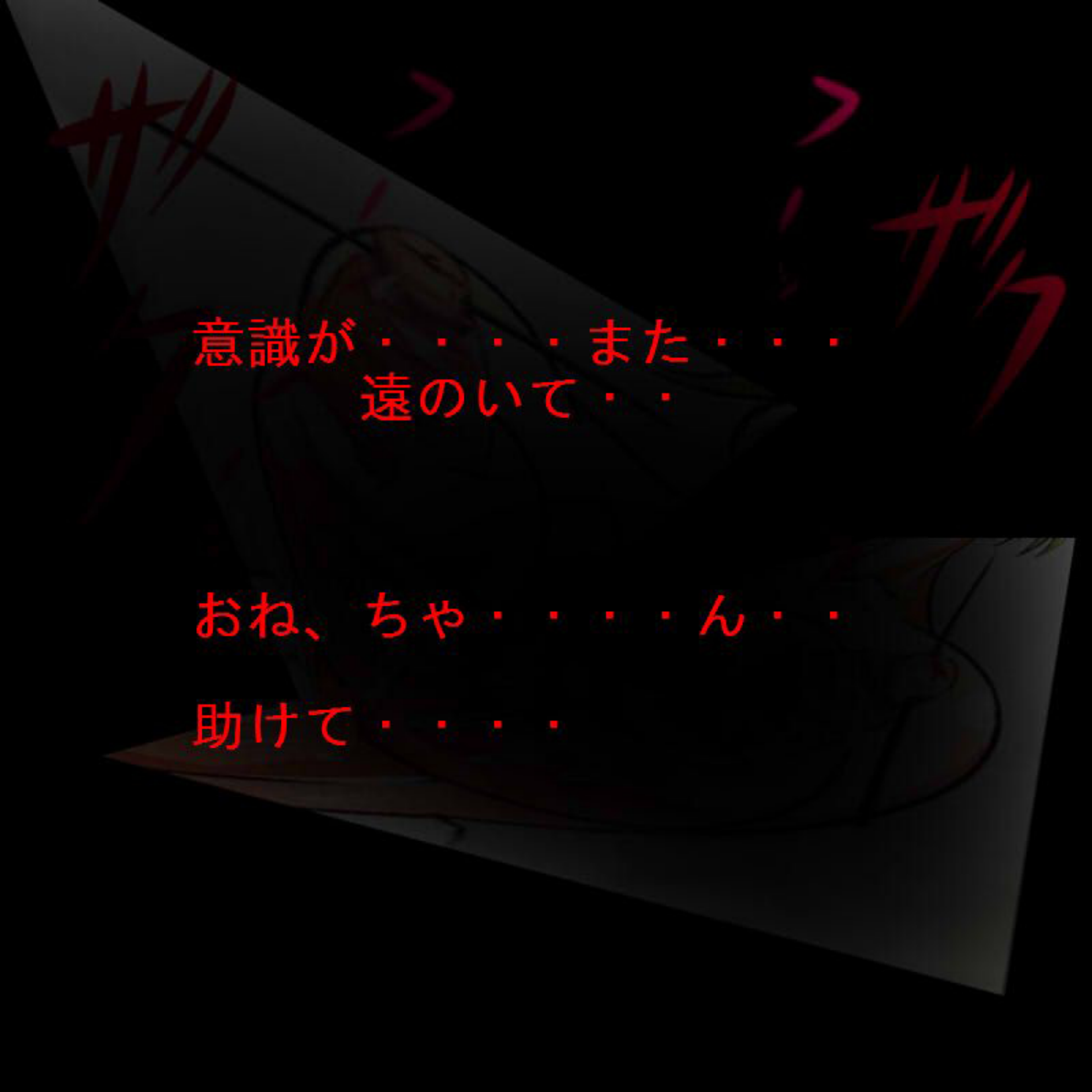
視界がボヤケル・・・

いた。いたい・・・

ガク  
ク

ガク





意識が . . . . また . . . .  
遠のいて . . .

おね、ちゃ . . . . ん . . .  
助けて . . . .

「よお、おきたかい？」



何コレ！？何！！！？なんなの！？

何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！
何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！
何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！
何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！
何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！
何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！	何コレ！

何何！？何！？  
なんなのよ！！！！！！！！！！！！！！！！！！





「目覚めの一発くっさいのいっところか」

(嘘っ！冗談でしょ！！！！？！！？)



これ！！！！小便っ！おしっこ！！！！



おおオゲエエエエエエエ！！！！

吐きたい！吐きたい！吐きたい！  
気持ち悪い！！！！気持ち悪い！！

吐きたい吐きたい！吐きたい！  
ダメ！飲んじゃううう！  
嫌だ嫌だ！！！！



サ  
デ  
イ  
ス  
ト  
の  
宴  
V

続きは製品版で！